

おこっぺしょうぼう



119



令和3年8月発行 No.51

発行：紋別地区消防組合消防署興部支署  
〒098-1607 興部町旭町  
TEL 0158-82-2136 FAX 0158-82-2400  
✉ syoubou@town.okoppe.lg.jp

## 花火による火災を防ごう！

花火は夏の風物詩であり綺麗で楽しいものです。しかしルールを守らず不適切な処理を行うと、思わぬ火災発生の原因となります。以下のルールを守り楽しく遊みましょう。

- 子ども達だけではなく、大人と一緒にいきましょう。
- 風の強い日は花火をやめましょう。
- 周りに燃えやすい物がないか確認し、広く安全な場所で行いましょう。
- 水の入ったバケツを用意して、遊び終わった後はしっかり水に浸けましょう。



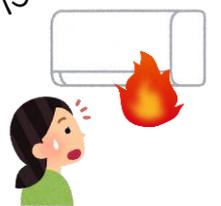
## エアコンによる火災に注意！！

エアコンは暑い夏を乗り切るのに不可欠な家電製品です。

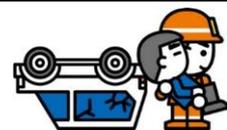
次のような不調を認めた場合には、火災発生の恐れがあるので直ちに使用を中止しましょう。



- 電源コード・プラグに変色や傷があり、異常に熱い。
- 運転音が異常に大きい。
- 室内機から水漏れがある。
- 焦げ臭いにおいがする。



## 救助資器材取扱訓練



6月15日、交通事故を想定した「救助資器材取扱訓練」を実施しました。

実際に廃車を使用し、基本的な救助資器材取扱要領や実現場に近い想定で救助訓練を行いました。



# 興部消防団が設立100周年を迎えます

地域防災の要として当町に消防団が設立（公設）されてから、令和4年9月をもって100周年を迎えることとなりました。長年にわたり住民の暮らしを守り、郷土愛に根差した活動を続けてきた興部消防団の歴史を後世に伝え残していくために記念誌を作成すべく、現在、その準備を進めています。

## 消防団に関する写真を探しています！

記念誌には、消防団にまつわる写真をできるだけ多く掲載したいと考えています。出初式や消防演習、火災や自然災害に対する防御活動など、消防団の活動や訓練等の様子を撮影したものがございましたら興部支署までご連絡ください。

ご提供いただいた写真は、当方でデジタルデータ化させていただいた後にお返しいたします。また、当該写真は記念誌作成目的以外には使用いたしません。（写真提供の受け付けは本年9月末を目途としています。）

特に「昭和の頃」の写真をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非、ご一報ください！皆様からのご連絡を心からお待ちしています。



# 令和3年度 危険物取扱者 消防設備士 試験のご案内

令和3年度第5回危険物取扱者試験及び第3回消防設備士試験が下記の日程により実施されますので、お知らせいたします。

受験希望の方は紋別地区消防組合消防署興部支署予防係までお問い合わせください。

また、インターネットによる受験申請（電子申請）をされる方は、(財)消防試験研究センターのホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>) をご覧ください。

## 記

- 試験日 10月17日（日曜日）
- 受験願書の受付期間 【書面申請】 8月30日（月曜日）～ 9月6日（月曜日）  
【電子申請】 8月27日（金曜日）～ 9月3日（金曜日）
- 試験の種類及び試験地

区分	試験の種類	試験地
危険物取扱者試験	甲種 乙種（第1～6類） 丙種	旭川市・北見市・苫小牧市・帯広市 ・釧路市
	乙種（第1～6類） 丙種	小樽市・名寄市・稚内市・紋別市 ・室蘭市・浦河町・中標津町
消防設備士試験	甲種（第1～5類） 乙種（第1～7類）	札幌市・旭川市・北見市 ・苫小牧市・帯広市・釧路市

○問い合わせ先 紋別地区消防組合消防署興部支署予防係 Tel.82-2136

## 消防訓練を行いました！



老人福祉センターで消防訓練を行いました。実際に火災報知設備を鳴らし、119番への通報や避難訓練、消火器の取扱訓練を行いました。

# 北海道に巨大地震の影あり！

皆さんは日本海溝・千島海溝の巨大地震をご存じでしょうか。想定される規模として日本海溝でもマグニチュード9.1、千島海溝で9.3にもなるとされ、その際の津波の高さは北海道で30メートルを超えと言われています。

自然災害は防災意識を高めて防げるものではありません。避難経路の把握や、非常用持ち出しバッグの用意など事前の準備が重要です。



## 災害に備えよう！



- 

家具の置き方を工夫しましょう。
- 

食料・飲料水を備蓄しましょう。
- 

非常用持ち出しバッグを準備しましょう。
- 

安否確認の方法を確定しましょう。
- 

避難場所や避難経路を確認しましょう。

- ① 転倒防止に家具の固定をしたり、出入口を塞がないように家具の置く向きを考えましょう。
- ② 非常食や飲料水の備蓄としては1人3日分と言われています。また大規模災害では7日分の備蓄が必要です。
- ③ 避難所で暮らす際の日用品や、携帯ラジオ、懐中電灯、常備薬などもあると安心です。
- ④ 有事の際の安否確認の方法として災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板などがあります。
- ⑤ 興部町のホームページなどで防災マップやハザードマップを入手し、避難場所・経路を確認しましょう。

いつ発生するか分からない自然災害、自身と大切な家族に逃げ遅れがないように、普段から災害への準備を行いましょう。